

百年に一度の世界大不況
市はどう立ち向かうのか



公言されています。不況が長期化すれば、当然複数年にわたり市の財政は歳入欠陥になります。短期的な不況であれば、財政調整基金の繰り入れや市債の発行等で対処できても、長期不況の場合、今までのような健全財政を堅持することは非常に困難になると思います。今後の経済情勢を見定めつつ、市として財政的にどう対処するのか伺います。

業執行が欠かせないと判断しています。財源確保策としては、企業立地の促進、市街化区域の拡大、バランスのとれた産業構造を目指し、不況に強い税収構造を築きたいと考えます。さらに国、県等の助成制度も最大限活用し、時代潮流を踏まえた中で、市債や基金の活用も考えていきます。効率的な事業執行としては、持続可能な都市経営

今、必要なのか
(仮称)市民活動支援施設建設



答（市長）：青少年会館、市民活動サポートセンター、

答（市民協働部長）：建物の詳細は、今後、先進市の事例等を参考にしながら、計画を進めていきます。検討委員会は、各種団体をはじめ、多くの方々から、ご意見をいただける構成にしたいと考えています。

3月12日、13日に議員21名が市の考えをたしました。
主な質問、答弁の要旨を紹介します。

共産党 佐々木 弘



問：第四次総合計画の実
施計画では、「市営住宅の
供給事業」の実施を掲げ、
24年度までに、南部地域
に3階建て36戸の市営住
宅を建設すると明記してい
ます。本定例会の予算に対
する代表質疑において、実
施計画実現に向けて努力し
ていくが、若干の修正が生
じる可能性もあると、市長
の答弁がありました。市
営住宅建設の基本的な方針
に変更はないのか伺います。

答（市長）：実施計画で
は、南部地域に市営住宅の
建設を予定していますが、
昨今の社会経済情勢の変化、
市内の民間賃貸住宅の供給
実態や都市戦略の観点から、
当市における、「住宅確保
要配慮者、住宅福祉」に関
する施策の基本的な考え方
を整理しているところです。
20年度は市営住宅あり方
検討業務を実施し、その基
本的な考え方を見直してお
り、21年度から市営住宅
管理計画の全面的な見直し
を行い、建設に向けて、検
討していきたいと考えてい
るところです。

答（市長）：実施計画で、南部地域に市営住宅の
討していきたいと考えてい
るところです。

新政海クラブ 氏家 康太



問：校庭の芝生化には、教育的効果、学校環境の向上効果、地域交流の促進効果など多数のメリットが見込めます。18年9月定例会の一般質問で、「初期投資が安い、維持管理が簡単、踏まれても枯れないなどを研究していきたい」との答弁がありました。芝生の上

庭の芝生化実施に向け検討していきます。21年度は杉久保小学校校庭をモデルとして、試行的に実施していきます。

答（教育部次長）：工事・養生期間および維持管理の手間が、校庭芝生化の課題として検討してきたところです。鳥取方式であれば、校庭の芝生化が十分可能と考えられるので、学校、PTA、地域の方々の理解と協力をいただき、将来の本格導入に向けた検証をしていきたいと思えます。

答（教育長）：国分寺台

ある鳥取方式を参考に、校

新政海クラブ
市川敏彦



問：海老名インターチェンジおよび海老名ジャンクションの開通にあたり、高速道路を一般開放して自由に歩くといったイベントを、開催してはいかがでしょうか。さがみ縦貫道路は、まさにその日しか歩けません。

また、開通により海老名インターチェンジから至近距離にある海老名運動公園や市内のスポーツ施設の利用者は増加することが予想されます。相模川沿いの運動公園・中野多目的広場・河原口高水敷・県立相模三

どもから高齢者まで、多くの市民の方が参加できる、マラソンやウォーキングの大会を計画したいと思っています。また、海老名運動公園には、バーベキュー施設や芝生広場があるので、学校等による野外教育であれば、キャンプ場としての利用は可能であると考えます。また、相模川沿いに、キャンプ場を設置することが可能かどうかについては、相模川海老名スポーツ施設ネットワーク事業の研究課題としたいと思います。

公園・中野多目的広場・
原口高水敷・県立相模三
題としたいと思います。

答（市長）：ご提言の開催記念イベントは、中日本高速道路株式会社と協力し、当市独自のイベントを開催したいと考えています。子



▲開通に向け工事進行中

公明党 福地 茂



問：現在、海老名駅舎部自由通路整備事業や、海老名インターチェンジ周辺道路の整備事業等、大型のまちづくりが進んでいます。その一環である（仮称）南伸道路整備は、東名高速道路以南では工事が順調に進められています。完成すれば市道8号線に接続し、南部の市民の利便性が格段に向上します。今後、東名高

部以外の個所は、東名高速道路北側と南側の一部で、擁壁工、水路工、車道および歩道のおよび完成し、県道藤沢厚木から北側までの供用は、22年度末を目標に進めています。課題としては、東名横断工事の着手が遅れたため、工程管理を着実に、完成時期が遅れないよう、取り組みでいきます。

を伺います。

答（建設部専任参事）：

東名高速道路横断部は、20年12月より着手し、現在は、東名高速道路下の地盤改良工事を行っています。横断



▲開通が待ち遠しい…

無会派 三宅 良子



問：厚労省の子育て支援メニューの一つに、乳幼児を持つ親が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合うことで、精神的な安心感を得るというものがある。これに、日常の子育てを楽しむ、安心して行うために必要なサービスを市でも取り組むべきと考えます。

精神的な安心
組むべきと考えます。

答（保健福祉部長）：市では、センター型として平成10年から子育て支援センターを設置し、子育て全般に関する専門的支援を行う拠点として、すすくサロン事業、移動サロン等を展開し、新たにホットステーション事業にも取り組んでおり、「つどいの広場事業」は必要ないと考えます。